

「聖霊来てください。
あなたの神的愛の火でわたしたちを満たし、
どのように祈ったらいいのか教えてください。
わたしたちがイエスの聖年の恵みを
受け取ることができますように！」

第1日目：聖年の約束：聖年は、すべての負債を帳消しにしてくれます。

ゆるしは、イエス・キリストを通しての贈りものです。

「これはわたしの血であり、多くの人に罪のゆるしを得させるために流される。」(マタイ 26:28)

「この愛する御子に結ばれたわたしたちは、その流された血によってあがなわれ、罪のゆるしを得ているのです。これは神の豊かな恵みのおかげです。」(エフェソ 1:7-8)

イエスの先駆者、神の聖年である洗礼者聖ヨハネは、罪のゆるしによる救いを神の民に与えるために来ました。(ルカ 1:77)

ペトロは、「悔い改めなさい。そして罪をゆるしていただくために、それぞれイエス・キリストの名によって洗礼を受けなさい。そうすれば、賜物である聖霊を受けます。(使徒 2:38)」と人々に語っています。

負い目を帳消しにする聖年のゆるしは、人間関係の負債や物理的・物質的な負債だけでなく、霊的な負債も含みます。主と教会は、聖年の間に、わたしたち自身の罪や、先祖たちの犯した罪の結果を完全に絶つ恵みとチャンスを与えてくださいます。この恵みはわたしたちが受けることが出来る毎日の全免償を通して与えられます。家庭において、この恵みは非常に重要です。なぜなら、何世代も経っているにも関わらず、しばしば先祖たちが犯した罪の結果を、わたしたちは霊的に受け継いでいることがあるからです。

また、人びとはまだ贖われていない人間の弱さから、人間関係の中で人の犯した間違いのひとつひとつを記憶に留めがちです。そうすることで、わたしたちは、お互いを罪と過去の過ちの中につなぎとめてしまっています。人びとは、他の人びとが過去の彼らの罪の習癖に従って、何時もそのように振舞うだろうと思うのです。

「愛は・・・人の悪事を数え立てない(一コリント 13)」。イエスのうちにおられる神は、わたしたちの罪をゆるされるだけでなく、わたしたちが彼と同じように、無条件で隣人をゆるすことを切に望まれているのです。わたしたちは、神的愛の賜物をいただけるよう、聖霊に願うことができます。その恵みは、ゆるしという恵みのうちに明らかになります(ロマ 5:5)。また、イエスは、7の70倍ゆるすようにとおっしゃいました。ゆるしに制限はないのです！聖年は、わたしたちの家族の中の「厄介者」を真にゆるすための好機です。彼らを主が祝福してくださるよう祈りましょう。彼らが新しいスタートを切れるよう、新しい始まりと人生の春を迎えられるよう、主に願い求めましょう。

負い目をゆるすためのもう一つのチャレンジは、聖年の間、金銭的な負債や借金を帳消しにしてあげることです。教皇様は、世界中の富める国々に、貧しい国々が抱えている負債を免除するよう求められました。多くの国は、将来の基金がそれぞれの国を建設的に建てるために使われるよう、契約を実際に見直しています。おそらく、社会の中のいろいろなレベルにおいて、負債に関するこの点をわたしたちは考える必要があるでしょう。たとえば、わたしたちのもっと身近な集いの中において。

祈りましょう。わたしたち自身を、隣人を、そして、すでに亡くなった方々を、心から本当に赦すことができますように。また、主が導かれるままに、金銭的な負債やその他の負債を帳消しにすることができる神聖な力をいただけますように。

第2日目：聖年の約束 正義と、抑圧からの解放。

「お前たちは互いに隣人に害をもたらしはならない。お前の神を畏れなければならない。」（レビ 25:17）

聖年は、主への畏敬を啓示する時であり（主を畏れることは知恵の始まりだからです）、聖性の時であり、神に従う時であり、また神の正義のための時です。

祈りましょう。正義のため、聖性のため、そしてわたしたちと隣人たちが神を畏れ、神に従うことができますように。

第3日目：聖年の約束：イエスは聖年においてわたしたちを解き放ち、自由にし、解放する解放者としてやって来られます。「解放」

「お前たちはその五十年目を聖なるものとし、その土地に住んでいるすべての者に自由を宣言しなければならない。」（レビ 25:10）

「お前とともにいるお前の兄弟が困窮し、お前に身売りする時は、その人に奴隷のように仕えさせてはならない。その人を雇い人、あるいは滞在者のように、お前の所で生活させなければならない。その人はヨベルの年までお前のもとで働く。そして、その人は子供らとともにお前の所を去って、その家族のもとに帰る。そなわち、その人は祖先たちの所有地に戻るができる。彼らはわたしの僕だからである。わたしは彼らをエジプトの地から導き出した。彼らは奴隷として売買されてはならない。」（レビ 25:39-43）

聖年には、すべての土地において自由が宣言され、捕らえられて奴隷となっている人々の解放が約束されています。神は、すべての人の自由を宣言することで、聖年を聖なるものとするようにと、わたしたちを招いておられます。イエスもこの聖年における解放の約束を宣言し、実現されています。「主の霊がわたしの上におられる。なぜなら・・・主の恵みの年を告げ知らせるためである。」（ルカ 4:19）、「子があなたたちを自由にするなら、あなたたちは本当に自由な者である。」（ヨハネ 8:36）そして、聖霊は、わたしたちの人生において、また、これまでの歴史の中で彼を受け入れたすべての人たちのうちで、イエスの解放を実行されます。「この主は「霊」であって、主の「霊」があるところには自由があります。」（二コリント 3:17）

祈りましょう。わたしたち自身と隣人が必要としているあらゆる種類の解放のために。

第4日目：聖年の約束：保護、安全、そして、平安の時。

「お前たちはわたしの掟を行い、わたしの定めを守り、それを行わなければならない。そうすれば、お前たちは安心してその土地に住むであろう。」（レビ 25:18）

「お前たちはわたしの安息日を守り、わたしの聖所を敬わなければならない。わたしは主である。もしお前たちがわたしの掟に従って歩み、わたしの命令を守り、それらを行うなら、・・・わたしはこの土地に平和を与える。お前たちは何も恐れることなく眠るだろう。またわたしは悪い獣をこの地から取り除く。剣がお前たちの土地を通り過ぎることはないだろう。」（レビ 26:2-3.6）

祈りましょう。保護のため、安全のため、そしてわたしたちと隣人たちの平安のために。

第5日目：聖年の約束：かつて失ったものをまた得るでしょう。「回復」

「彼らは昔の廃墟を建て直し、以前には荒れ果てていた所を再建し、廃墟となって代々に荒れ果てていた町々を新しくする。」（イザヤ 61:4）

「麦打ち場は穀物で満ち、石瓶は新しいぶどう酒と油で溢れる。わたしがお前たちに送った、わたしの大軍、移住蝗（いなご）、飛び蝗と食い荒らす蝗、そして、噛み食う蝗が食い荒らした年々を、わたしがお前たちに償おう。そして、お前たちは満ち足りるほど食べ、お前たちのために驚くべき業を行われたお前たちの神、主の名をたたえるであろう。わたしの民は永遠に辱められることはない。」（ヨエル 2:24-26）

「そして、その人は子供らとともにお前の所を去って、その家族のもとに帰る。」（レビ 25:41）

奴隷は自分の家族のもとに帰ります。

ここで神は、キリストの体におけるすべての家族の一致と癒しを約束されています。洗礼者ヨハネは、エリヤの霊のうちに、「父の心を子に立ち返らせ、子の心を父に立ち返らせる（マラキ 3:24、ルカ 1:17）」ために来ました。この約束は、神がわたしたちのために用意され与えようとしているものから、わたしたちが失ってしまったものすべてを回復することを意味しています。「わたしたちは、神の作品であり、わたしたちが歩むべき道として、神があらかじめ用意してくださった善い行いをするようにと、キリスト・イエスのうちに造られた（エフエソ 2:10）」からです。また、ここで、神は、聖年において家庭の修復も約束されておられます。この重要な約束は、一般の家庭だけでなく、キリストの体における霊的な家族の絆、つまり、キリスト教の修復についても言及しているのです。

祈りましょう。神がわたしたちのために用意してくださっていたのに、わたしたちが見失ったり、失くしてしまったものを再び得るため、また、わたしたち自身、家族、そしてキリストの体の癒しのために。

第6日目：聖年の約束：「繁栄」、「神からの分け前」、「経済的刷新と祝福」。

「土地はその実を結び、お前たちは飽きるまで食べ、安心してその土地に住むであろう。」（レビ 25:19）

「わたしはすべての民を揺り動かす。そしてすべての民の宝物がもたらされ、わたしはこの家を栄光で満たす。」（ハガイ 2:7）

収穫の時、人は種まくことはしません。今は神の収穫の時なのです！イエスが種まき、みなさんは畑がもたらす多くの実りを食します。この実りとは、あなた自身が必要としているものと、福音と神の御国を広めるために必要なもののために、神ご自身の蔵から与えられる豊かな分け前のことです。

祈りましょう。わたしたち自身と隣人に、豊かな神の分け前が与えられますように。

第7日目：聖年の約束：聖年は永遠の喜びと祝福の時...永遠のいのちとその溢れ

「まことに、見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。先のことは思い起こされず、心に上がることもない。お前たちはただ、楽しみ喜べ、わたしが創造するものを。まことに、見よ、わたしは、エルサレムを喜びとして、その民を楽しみとして創造する。」（イザヤ 65:17-18）

天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。（黙22:1）

「あなたは、すべての人を治める権能を子にお与えになったからです。子が、あなたから与えられた人すべてに、

永遠の命を与えるためです。永遠の命とは、唯一の真の神であるあなたを知り、また、あなたがお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。」(ヨハネ17:2-3)

天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。(黙示録22:1)

「川が流れゆく所、生き物の群れはすべて生氣に溢れ、おびたしい魚が繁殖するようになる。この水が流れ込むと浄化され、この川が流れ込む所では、すべてが生氣に溢れるからだ。エン・ゲディからエン・エグライムに至るまで、岸边には漁師たちが連なり、それらの場所は網干し場となる。そして大海同様、豊富な種類の魚に恵まれる。しかし、沼地や湿地は塩を採取するためによんどままにしておかれる。」(エゼキエル 47:9-11)「川の兩岸にはいのちの木があり、十二回実がなり、毎月実を結んだ。その木の葉は、諸国の民をいやすためのものであった。」(黙示録 22:2)

イエスは、神の命の充満を描写するために「永遠の命」や「天の王国」、「命の川」という言葉を用いられています。神はここで実際に神の民を新しく創造し、絶え間ない聖年として実際に神の民とともに住むと約束されます。聖年は、神の川の中で生きることを味わう時です。わたしたちは、もっと目に見える神の御国の現存を望むことができますし、聖年の間、わたしたちの生活に、そして世界に、神が与えようとされているものすべてを望むことができます。わたしたちは、終わることのない祝福の流れを味わうことができますし、わたしたち自身が、今この瞬間、祝福になることができますのです。

祈りましょう。今も、いつも、わたしたちと隣人の永遠の命、喜び、そして豊かな実りのために。

第8日目：聖年の約束：神からわたしたちにかつて与えられていた土地や財産といった相続を再び受け取ること。(ルーツに戻ること。)

「お前たちはその五十年目を聖なるものとし、その土地に住んでいるすべての者に自由を宣言しなければならない。」(レビ25:10) しかしながら、聖年には、その畑はそれを買ったものからこの先祖伝来の畑を売った元の所有者に戻る。(レビ27:23-28)

「わたしに求めよ。わたしはお前に与えよう、国々をお前のものとし、地の果てまでもお前の領地として。」(詩編 2:8)

この聖年の約束は、「地とそこに満ちるもの、世界とそこに住むものは主のもの。」(詩編 24:1)

聖年の約束は、二つの次元に適応されます。一つは、物理的な財産や所有物についてであり、もう一つはわたしたちの人生の霊的な財産についてです。

《物理的な財産や所有物について》

聖年には、財産は元の所有者に返還されます。その人が本来相続すべきものとして、神がお与えになっていたからです。これは、「地と、それに満ちるもの、世界と、そのなかに住む者とは主のものである。(詩編 24:1)」ということを示しています。神から委ねられることで、人は物を所有するのです。

《霊的な財産》

イエスの聖年において、神は諸国の土地に住んでいる人びとに御子を霊的な遺産として与えると約束されます。これらは、イエスをご自分の命を投げ出された人々の魂のことです。そして、主は彼らのうちにご自身の家を建てたいと望まれ、そこに住まうことを望まれています。これは、世界中でイエス・キリストに立ち戻る人たちの魂の偉大な収穫を約束するものです。わたしたちの本当の住み家は、聖三位のふところの中です。神はご自身に、つまり、わたしたちの永遠なる真のルーツに、立ち帰るようにとわたしたちに呼びかけておられます。神のうち、

より深くにわたしたちの基を据え、わたしたちの真のルーツに戻ることを！

祈りましょう。わたしたち自身と隣人たちのために用意されている神の霊的、また、物的相続のために。

第9日目：聖年の意向：「感謝」：イエスは聖年の神。

今日、わたしたちは、いとも聖なる聖三位に、神の聖年である主イエス・キリストをお与えくださったことに感謝し、聖年の間にイエスを通して慈しみ深く与えてくださったすべての恵みに感謝します！すべての栄光は神に。すべての良いものは神から来て、彼の足元にわたしたちの勝利の冠を投げ出します。神がなされたこと、今なされていること、そしてこれからなされることすべてに栄光を帰します！アレルヤ！（黙示録 4:9-11）

祈りましょう。聖年の恵みを与えてくださる御父と御子と聖霊に、感謝と栄光を捧げます。